



東京国際空港（羽田空港）における空港車両のEV化検証に取り組みます ～空港におけるカーボンニュートラル化実施計画策定支援業務～

日本空港ビルディング株式会社（代表取締役社長執行役員兼COO 横田信秋）と株式会社エージーピー（代表取締役社長執行役員 大貫哲也）は、共同で国土交通省航空局が公募した「空港におけるカーボンニュートラル化実施計画策定支援事業」における委託調査に対して応募し、東京国際空港（羽田空港）の空港車両のEV化検討調査の採択を受けましたので、お知らせいたします。

今回の調査対象は空港車両のうち連絡車と呼ばれる航空機地上支援、整備、清掃に従事する要員等が使用する車両で、空港車両で最も台数の多い一種です。調査では、2社のそれぞれの強みを生かし、EV化を円滑に進められるよう、テレマティクスサービス機器を使用して取得した車両運行データ等の検証・分析を通じてEV化へ向けた車両管理や充電環境の整備、空港のエネルギーマネジメント等の課題検討を行い、羽田空港における連絡車のEV化の実施計画の作成を行います。

今回の検討は、空港車両の脱炭素化へ向けて本邦航空会社の協力を得て行うものであり、全国に先駆けた取り組みとなります。2社は、羽田空港はもとより、全国の空港における連絡車のEV化推進へとつなげ、カーボンニュートラル社会への実現に貢献してまいります。

注）テレマティクスサービスとは、車両に車載機とGPSを装着し、通信回線を通じて取得した車両運行データを有効な情報に加工してWEB上で提供するサービスです。

採択テーマ	東京国際空港 空港車両（連絡車）のEV化検討調査
対象空港	東京国際空港（羽田空港）
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● EV/FCV化による空港運用への影響を最小限に抑える方法 ● EV/FCVステーションの整備及び運営 ● 共有化の観点を踏まえたEV/FCV化
調査期間	2022年10月～2023年2月

以上

（本件に関するメディアからの問合せ先）

- 日本空港ビルディング株式会社
広報・ブランド戦略室（電話03-5757-8030）
- 株式会社エージーピー
経営企画部（電話03-3747-1638）